

# 親子で楽しむ

絵

本

タ

イ

ム

～幼児（3～5歳）編～

「乗り物」や「食べ物」など、子どもたちに人気のテーマから  
48冊の絵本を選びました。



山梨県立図書館

YAMANASHI PREFECTURAL LIBRARY



遊び

### 『あーとってよあー』

小野寺悦子／ぶん 堀川理万子／え  
福音館書店 2015年



上を向いて「あー」。下を向いて「あー」。片手で口をたたきながら「あー」。実際に「あー」と言って、自分の声で遊んでみましょう。試してみるといろいろな「あー」が見つかります。

3歳～

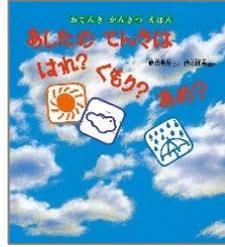
3歳からの科学絵本です。園や図書館での読み聞かせにもおすすめです。

天気

### 『あしたのてんきははれ?』

くもり?あめ?おてんきかんさつえほん』

野坂勇作／さく 根本順吉／監修  
福音館書店 2012年



「まっかな ゆうやけは、にしの そらが はれている しょうこ」。天気は西から変わるため、明日は晴れるでしょう。では、「あさやけ」は?

4歳～

空の色や雲の形、生き物の様子などから天気の移り変わりがわかる絵本です。身近な自然に興味を持つきっかけにも。

生活

### 『いえができるよ』

バイロン・バートン／さく  
ながわちひろ／やく  
好学社 2024年



野原にブルドーザーがやってきて工事が始まります。「あなを ほる。」「いたを コンコン うめこむ。」「セメントを ドロドロ ながす。」そして床、壁、屋根をつくり、水道管や電気の線をつなげ…。

3歳～

家が出来るまでを、シンプルな文章とカラフルな絵で伝えます。

生活

### 『うかぶかな?しずむかな?』

川村康文／文 遠藤宏／写真  
岩崎書店 2023年



水を入れた水槽にいろいろな物を入れて、「うかぶかな?しずむかな?」。ボールは浮かび、消防車のおもちゃは沈みました。では、粘土や恐竜の人形、飴、野菜は?

3歳～

「浮力」を確かめる実験を紹介した科学絵本です。予想しながら読むと、意外な結果に驚くことも。

乗り物

### 『エンソくんきしゃにのる』

スズキコージ／さく  
福音館書店 2013年



エンソくんは汽車に乗って、田舎のおじさんに会いに。初めての一人旅で緊張していると、途中の駅から羊がぞろぞろ乗り込んできて…。

3歳～

駅や車内のにぎわい、様々な乗客や働く駅員、街から山道へ駆け抜ける汽車一何度読んでも旅のワクワク感が味わえます。

体・心

### 『おおきくなるっていうことは』

中川ひろたか／文 村上康成／絵  
童心社 1999年



「おおきくなる」ってどんなことでしょう。新しい歯が生える、あまり泣かなくなる…。そんな日々の小さな変化を見つけて、子どもたちに語りかけます。

3歳～

「またひとつ おおきくなった おめでとう みんな」。成長することの喜びを子どもと分かち合える絵本です。

遊び

### 『おしくら・まんじゅう』

かがくいひろし／さく  
ブロンズ新社 2009年



紅白のお饅頭が、こんにやくや納豆、幽霊たちとおしくらまんじゅう。こんにやくを押すと「ぶるるる～ん」と跳ね返され、納豆を押すと「ねっば～」とくっつきます。では、幽霊を押すと…?

3歳～

お饅頭たちのゆかいな表情や、意外な結末に注目です。

冒険

### 『おっきょちゃんとかっぱ』

長谷川摂子／文 降矢奈々／絵  
福音館書店 2012年



川で遊んでいたおっきょちゃんは、カッパのガータロに祭りに誘われ、水底へ。ふるまわれたお餅を食べると、地上での記憶を失ってしまいます。おっきょちゃんはガータロの家族となり、しばらく水の中で暮らしますが…。

3歳～

夏に読みたい、幻想的な冒険物語です。

家族

『おとうさんはだいくさん』

平田昌広／作 鈴木まもる／絵  
佼成出版社 2009年



5歳～

ぼくのとうちゃんは大工さん。でも、家ではごろごろしてばかり。とうちゃんの働く姿を見たことのないぼくは、とうちゃんに頼んで仕事場について行くことに。ぼくは、とうちゃんから大工の仕事や、大勢の人が力を合わせて家を建てることを、詳しく教えてもらいます。

冒険

『かいじゅうたちのいるところ』

モーリス・センダック／さく  
じんぐうてるお／やく  
富山房 1975年



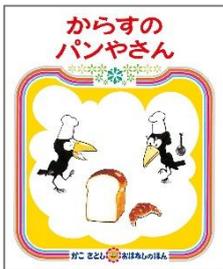
3歳～

ある晩、おおかみのぬいぐるみを着て大暴れしたマックス。怒ったお母さんに寝室に閉じ込められます。すると、部屋の中に木が生え森になり、そこへ波が打ち寄せ、船を運んできました。マックスは、長い航海のすえに、かいじゅうたちの住む陸地に到着します。

食べ物

『からすのパンやさん』

かこさとし／作・絵  
偕成社 2010年



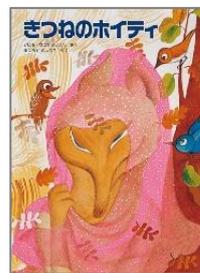
4歳～

からすのパンやさんは、4羽の子がらすの育児で大忙し。ある日、うっかり焦がしたパンが近所の子がらすたちに評判となります。「もっと いろいろなパンがあると いいな」。そこで、恐竜やバナナ、車など、さまざまな形のパンをどっさり作って売り出すと…。

多文化

『きつねのホイティ』

シビル・ウェッタシンハ／さく  
まつおかきょうこ／やく  
福音館書店 1994年



4歳～

食いしん坊ぎつねのホイティは、アンゴウさんの家のごちそうを見て「あんなばんごはんがたべたいなあ」と思います。そこで、庭に干してあった服を着て人間のふりをし、アンゴウさんの家へ。

村人とぎつねのだまし合いが楽しいスリランカのお話です。

ナンセンス

『キャベツくん』

長新太／文・絵  
文研出版 2002年



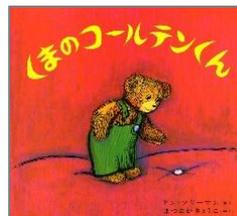
4歳～

道を歩いていたら、腹ぺこのブタヤマさんにつかまって、食べられそうになるキャベツくん。「ぼくをたべると、キャベツなるよ!」。そう言われて空を見たブタヤマさんは、「ブキャ!」。鼻がキャベツになった自分の姿が浮かんでいるのを見て、びっくり!

冒険

『くまのコールテンくん』

ドン＝フリーマン／さく  
まつおかきょうこ／やく  
偕成社 1975年



3歳～

デパートのおもちゃ売り場にいるくまのコールテンくん。女の子がコールテンくんを気に入りますが、ママはコールテンくんのズボンのボタンがないのを見て、新品ではないからと買ってくれません。その夜、コールテンくんはボタンを探しに出かけます。

バリアフリー

『ぐりとぐら』

てんじつきさわるえほん』

中川李枝子／さく  
大村百合子／え  
福音館書店 2013年



3歳～

2匹の野ねずみ、ぐりとぐらが大きな卵を見つけてカステラを作るまでを描いた『ぐりとぐら』の点字つき絵本です。絵には手で触って楽しめるように透明な樹脂インクで盛り上げて印刷されています。

冒険

『くんちゃんのはたけしごと』

ドロシー・マリノ／さく  
まさきりこ／やく  
ペンギン社 1983年



3歳～

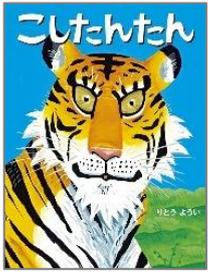
こぐまのくんちゃんが畑仕事をお手伝い。雑草に水をやり、花を抜くと「ちがう、ちがう!」とお父さんが叫びます。するとくんちゃんは、お父さんのやり方を観察して、もう一度挑戦します。

失敗してもめげずに頑張るくんちゃんを応援したくなります。

言葉遊び

『こしたんたん』

りとうようい／作  
絵本館 2023年



大きなトラが藪に隠れ、「いきをひそめてこしたんたん」。ウサギに襲いかかろうとしています。そこへ鹿がやってきて「こころウキウキこしたんたん」。獲物が増えて大喜び。すると今度は猪が…。

トラのユーモラスな表情と軽快な文章に思わずクスッと笑えます。

4歳～

言葉遊び

『こんとごん』

てんてんありなしのまき』

織田道代／ぶん 早川純子／え  
福音館書店 2022年



キツネの「こん」と「ごん」がいます。こんが戸を叩くと「とんとんとん」、ごんが叩くと「どんどんどん」。こんが転がると「こころころ」、ごんは「ごろごろ」。

濁音の有無で、語感だけでなく意味も変わります。声に出すと、その面白さがより伝わります。

4歳～

体・心

『さわってもいい?』

はまのゆか／著 佐々木裕子／監修  
めくるむ 2023年



いとこのえっちゃんとゆうちゃんの家遊びに来たたっくん。えっちゃんに頬を勝手に触られ、たっくんは嫌な気持ちになりますが、「やめて」と言えません。ゆうちゃんが心配して声をかけると…。

自分と周りの人の、「心と体」を守る大切さを伝えます。

4歳～

食べ物

『サンドイッチサンドイッチ』

小西英子／さく  
福音館書店 2008年



「サンドイッチ サンドイッチ さあ つくろう」。最初にレタスをのせて、次に輪切りの真っ赤なトマト、チーズ、ハム…。マヨネーズをかけてパンをもう一枚のせ、カットしたら出来上がり。いただきますー!!

食材の鮮やかな色、おいしそうな質感が伝わる食べ物絵本です。

3歳～

昔話

『三びきのこぶた イギリスの昔話』

瀬田貞二／やく 山田三郎／え  
福音館書店 1967年



3匹のこぶたが家を建てます。藁の家や木の枝の家を建てた1番目と2番目のこぶたはオオカミに家を壊され、食べられてしまいます。3番目のこぶたのもとにもオオカミがやってきますが、頑丈なレンガの家を壊せません。そこでオオカミはこぶたを誘い出そうとします。

3歳～

昔話

『三びきのやぎのがらがらどん』

ノルウェーの昔話』  
マーシャ・ブラウン／え  
せたていじ／やく  
福音館書店 1965年



3匹のヤギが小さい順に、山にかかる橋を渡ろうとします。すると、トロルが現れ「ようし、きさまをひとのみにしてやろう」と脅します。ヤギたちの運命は…?

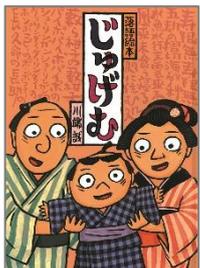
読み聞かせでは、大きさの違うヤギたちとトロルのセリフを読み分けると、臨場感が生まれます。

4歳～

言葉遊び

『じゅげむ』

川端誠／作  
クレヨンハウス 1998年



息子の名付けに悩んだ男が、寺の和尚に「寿限無」など縁起のいい名前を教えてください。けれども1つに絞れず、全部つなげた長い名前にします。ある日息子がケガをし、近所の人知らせに來ますが名前が長すぎて…。

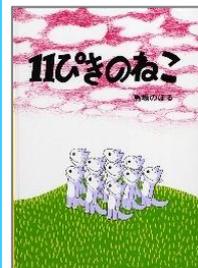
声に出して読むと楽しい落語の絵本です。

5歳～

生き物

『11匹きのねこ』

馬場のぼる／著  
こぐま社 1967年



11匹きのねこはいつも腹ぺこ。大きな魚を食べたいと、広い湖に出かけます。けれども魚が大きくて、一斉に飛びかかっても歯が立ちません。諦めきれず、作戦を考えたり体を鍛えたりするねこたち。彼らは力と知恵を合わせて、魚を捕まえられますでしょうか？

4歳～

パリアフリー

『しゅわしゅわ村のおいしいものな-に?』

くせさなえ/作・絵  
偕成社 2013年



5歳~

しゅわしゅわ村にはおいしい食べ物がたくさん。何があるか当ててごらん。たとえば「あまくて つめたい とけるもの」。手話では、片手で持って、舌でペロペロなめるしぐさをします。答えは、アイスクリーム!

楽しみながら手話を学べるシリーズの一冊です。

乗り物

『しょうぼうじどうしゃじぶた』

渡辺茂男/さく 山本忠敬/え  
福音館書店 2007年



4歳~

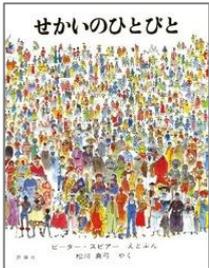
じぶたは、ジープを改良した小さな消防車。大きなはしご車やポンプ車に比べて出番が少なく、子どもたちにも人気がありません。ところがある日、山小屋で火が発生! 険しい山道でも走れるじぶたが大活躍します。

消防車同士の会話も楽しい、乗り物絵本です。

多文化

『せかいのひとびと』

ピーター・スピーア/えとぶん  
松川真弓/やく  
評論社 1982年



5歳~

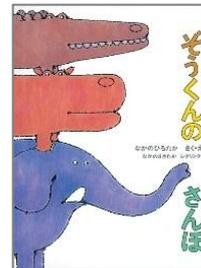
世界には、様々な人が暮らしています。本書は、髪や肌の色といった外見や、国や地域、民族の言葉や文化、宗教、個々の特性や考え方などの違いを、イラストとともに詳しく紹介しています。

多様性について学び、考えるきっかけとなる一冊です。

生き物

『ぞうくんのさんぽ』

なかのひろたか/さく・え  
なかのまさたか/レタリング  
福音館書店 2007年



3歳~

ある晴れた日、ぞうくんは散歩に出かけます。途中でかばくんやわにくん、かめくんを誘うと、「せなかに のせてくれるなら いっても いいよ」。力持ちのぞうくんはみんなを順番に背中にのせて一緒にお散歩しますが、だんだん重くなってきて…。

ファンタジー

『そらいろのたね』

中川李枝子/さく  
大村百合子/え  
福音館書店 2007年



4歳~

ゆうじが飛行機のおもちゃと交換して、きつねからもらった「そらいろのたね」。庭に埋めて水をあげると、空色の家が生まれました。大きくなるにつれ、ひよこやネコ、ブタたちが次々と家に入ります。やがて家が立派なお城のようになると、きつねがやって来て…。

生活

『大ピンチずかん』

鈴木のりたけ/作  
小学館 2022年



5歳~

「ぎゅうにゅうが こぼれた」「アイスが とけてきた」など、子どもだけでなく、大人にも起こりうる日常の失敗やハプニングを、ユーモラスな文章とイラストで紹介。

お子さんと一緒に「こういうこと、あるある!」と会話が弾み、楽しい時間が過ごせます。

友達

『だるまちゃんとてんぐちゃん』

加古里子/さく・え  
福音館書店 2017年



3歳~

だるまちゃんは、友達のてんぐちゃんが持っている「うちわ」が欲しくなります。家に帰り、おおきなだるまどんに家中のうちわを出してもらいますが、「こんなうちわじゃないんだけどな」。

大好きな友達の真似をしたがる、だるまちゃんのお話です。

昔話

『てぶくろ ウクライナ民話』

エウゲーニー・M・ラチョフ/え  
うちだりさこ/やく  
福音館書店 1965年



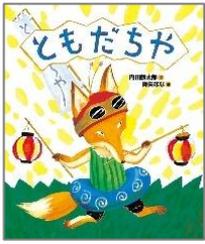
3歳~

雪の降る日、おじいさんが森で片方の手袋を落とします。通りかかったねずみが手袋の中に入って住み始めると、かえるやうさぎ、きつねなど森の動物たちが次々に「いれてよ」とやって来ます。ぎゅうぎゅう詰めの手袋は今にも弾けそうに…。

### 友達

## 『ともだちや』

内田麟太郎／作 降矢なな／絵  
偕成社 2011年



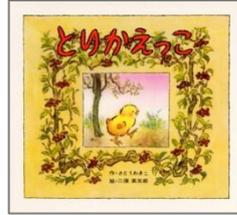
1時間 100円で友達になる「ともだちや」をはじめたキツネ。森を歩きながら「ともだちは いりませんか」。クマからお呼びがかかっていますが、振る舞われたイチゴにお腹がしくしく痛みます。次に声がかかったのはオオカミ。しかし友達から金を取るのかと迫られ…。

3歳～

### 生き物

## 『とりかえっこ』

さとうわきこ／作  
二俣英五郎／絵  
ポプラ社 1978年



遊びに出かけたひよこが、出会った動物と鳴き声を交換します。最初はネズミ。ひよこは「ちゅうちゅう」、ネズミは「ぴよぴよ」。イヌと取りかえたところで、ひよこは突然ネコに襲われますが…？

3歳～

子どもと一緒に、動物の鳴きまねをするのもおすすめです。

### 生き物

## 『どろんこハリー』

ジーン・ジョン／ぶん  
マーガレット・ブロイ・グレアム／え  
わたなべしげお／やく  
福音館書店 1964年



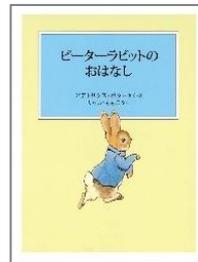
黒いぶちのある白い犬のハリーは、お風呂が大嫌い。ある日、お風呂にお湯を入れる音が聞こえると、体を洗うブラシを隠し、外に逃げ出します。工事現場や鉄道橋の上で遊んで泥やすずで真っ黒になったハリー。家に戻っても、家族に気づいてもらえません。

4歳～

### 冒険

## 『ピーターラビットのおはなし』

ビアトリクス・ポター／さく・え  
いしいもこ／やく  
福音館書店 2019年



いたずらっこのうさぎのピーターは、農家のマグレガーさんの畑に忍び込みます。野菜をたくさん食べた後、胃薬代わりにパセリを探していると、マグレガーさんに見つかってしまい、さあ大変！

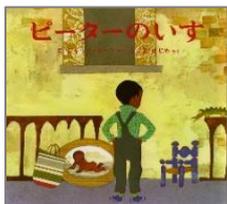
4歳～

ピーターの必死の逃走劇が、スリル満点に描かれています。

### 家族

## 『ピーターのいす』

エズラ=ジャック=キーツ／作・画  
木島始／訳  
偕成社 1984年



妹が生まれたばかりのピーター。小さい頃使った食堂椅子やベッドが、妹用にリメイクされるのが気に入りません。そこで、リメイク前の椅子を持って家出します。

3歳～

妹や弟のいる子どもに寄り添い、ゆっくりと時間を過ごしながら読みたい一冊です。

### 天気

## 『にじ』

武田康男／監修・写真  
小杉みのり／構成・文  
岩崎書店 2024年



雨が上がり、クモの巣や草の葉についた雨粒が輝き、空には虹が架かりました。「にじは、あめのカーテンにうつったたいようのひかり」。

5歳～

美しい写真とやさしい文章で、虹ができるしくみを解説する科学絵本です。めずらしい虹の写真にも注目です。

### 食べ物

## 『ぼくのぱんわたしのぱん』

神沢利子／ぶん 林明子／え  
福音館書店 2011年



パン屋でおいしそうなパンを見た子どもたち。「ぼくたちもぱんをつくろうよ」と材料をそろえて混ぜ、生地をよくこねてあたたかい所に置くと…パン生地がふくらんできました！

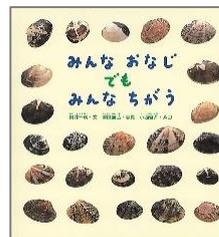
4歳～

楽しさと驚きにあふれたパン作り。読んだあと、パンが作りたくなるかもしれません。

### 生き物

## 『みんなおなじでもみんなちがう』

奥井一満／文 得能通弘／写真  
小西啓介／AD  
福音館書店 2012年



高級食材のマツタケ。たくさん並べてひとつひとつ見比べると、軸の長さや曲がり具合、かさの大小、色の濃淡、それぞれ違いがあることがわかります。

4歳～

アサリやソラマメ、クワガタムシなど様々な動植物の個体の違いを、美しい写真で比較できる科学絵本です。

冒険

『もじもじこぶくん』

小野寺悦子／ぶん きくちちき／え  
福音館書店 2019年



恥ずかしがり屋のこぶたのこぶくんが、アイスクリームを買いに来ました。店員さんが声をかけても、もじもじするばかり。後から来たお客さんが次々に注文していきます。

そこへ「いちごあじの ください」…こぶくんの耳に小さな小さな声が聞こえます。

4歳～

環境問題

『もったいないばあさん』

真珠まりこ／作・絵  
講談社 2004年



水の出しっぱなしや、ごはんの食べ残しを見つけると、もったいないばあさんが「もったいなーい」とやって来ます。

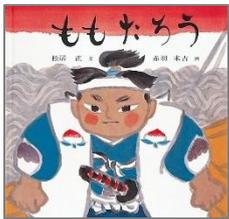
物を大切にすることや、再利用の方法をしてくれるもったいないばあさん。身近なところから環境問題に取り組むためのヒントにもなります。

3歳～

昔話

『ももたろう』

まつただし／ぶん  
あかばすえきち／え  
福音館書店 1980年



おばあさんが川で洗濯をしていると、大きな桃が流れてきました。おじいさんと食べようとする、桃が割れて中から男の子が生まれます。男の子は「ももたろう」と名付けられ、力持ちの賢い子に育ち、やがて鬼退治に…。

力強い絵と文で描かれた日本の昔話です。

5歳～

食べ物

『やさいのおなか』

きうちかつ／さく・え  
福音館書店 1997年



「これ なあに?」。描かれているのは黒い不思議な模様、これは野菜の断面図です。図を囲った枠の色が、野菜の色を表すヒントになっています。何の野菜か当ててみましょう。

ネギ、レンコン、ピーマンなど身近な野菜の「おなか」がわかります。

3歳～

冒険

『ゆらゆらばしのうえで』

きむらゆういち／文  
はたこうしろう／絵  
福音館書店 2003年



1本の丸太橋に、きつねに追われたうさぎが駆け込んできました。きつねはうさぎを捕まえようと丸太を揺らします。すると丸太を支えていた土手が崩れ、橋はまるでシーソーのようにゆらゆら。丸太の両端にいたきつねとうさぎは身動きがとれず、お互い大ピンチ!

4歳～

友達

『ラチとらいおん』

マレーク・ペロニカ／ぶん・え  
とくながやすもと／やく  
福音館書店 1965年



ラチはとても弱虫な男の子。犬や暗闇はもちろん、友達さえ怖くてたまりません。ある朝目覚めると、ベッドのそばに小さな赤いらいおんが現れ、「ぼくがつよくしてやるよ」と言います。その日から、らいおんとトレーニングを始めるラチ。さて、その成果は?

4歳～

言葉遊び

『りんごりらっぱ』

あべけんじ／作  
福音館書店 2024年



赤い「りんご」があります。大きな「ごりら」が来て、りんごを拾います。つなげて読むと「りんごりら」。次に、ごりらが「らっぱ」を持ったら? 声に出してみましょう「りんごりらっぱ」!

物や動物が、しりとりでつながっていく言葉遊びの絵本です。

4歳～

ファンタジー

『わたしのワンピース』

にしまきかよこ／えとぶん  
こぐま社 1969年



うさぎは空から落ちてきた真っ白な布で作ったワンピースを着て、「ラララン ロロロン」と出かけます。すると、ワンピースは花畑を通ると花柄に、雨が降ると水玉模様になります。

次々と模様が変わる素敵なワンピース。自分ならどんな模様がいいかな、と夢が膨らみます。

3歳～



## 親子で楽しむ絵本タイム ～幼児（3～5歳）編～



発行日 令和8年3月31日

編集・発行 **山梨県立図書館**  
YAMANASHI PREFECTURAL LIBRARY

〒400-0024

甲府市北口2丁目8番1号

T E L 055-255-1040

F A X 055-255-1042

U R L <https://www.lib.pref.yamanashi.jp/>

この冊子に関するお問い合わせ先

山梨県子ども読書支援センター（山梨県立図書館内）

- \* 当館ホームページ上からもこの冊子を見ることができます。
- \* 本書掲載の記事、イラスト、写真等の無断転載を禁じます。
- \* 山梨県内の公共図書館、子育て支援施設（認定こども園、保育所、幼稚園、子育て支援センター、児童館など）の方へ
  - ・ 本冊子は、プリントアウト、コピーによる複製の作成、無料配布が可能です。（改変・切除はご遠慮ください。）
  - ・ 本冊子に掲載されている書影付きの紹介文は、『大ピンチずかん』（鈴木のりたけ/著 小学館）を除き、コピー（拡大可）またはプリントアウトし、枠線で切り取り、POPとして展示にご活用いただけます。

